

02. 逆チカン電車

おに一さん。

おにいさーん。

満員電車の、乗り降りのどさくさ紛れて、私のお尻、触ったよね？

首を横にふってどうしたの？

不可抗力とでもいいたいの？

そしたら…

今、お兄さんの二の腕にあたってる、おっぱいはどう説明するんですか？

普通、女性の胸が当たってたら、離れますよね。

さっきから、おっぱいのむにゅとした感触に、神経集中してたんじやないですか？

あら…

今さら離れなくてもいいんですよ。

当ててるんですから。

もっと密着させて…。

おっぱいの感触、楽しんでいいんですよ。

だって、決定的な証拠がほしいですから。

ふふふ、私の思惑通り、お兄さんのズボン、膨らんでますね。

おちんちんが大きくなった状態じゃ、言い訳できないですよ。

うーん。

勃起だけじゃ、証拠として弱いかなあ。

そしたらあ。

お兄さんのおちんちん、ズボンの上から手でなぞって…。

大きくなったおちんちんを、手で上下に、すりすり…。

もっと興奮させて、カウパー液で、ぐしょぐしょにして差し上げますわ。

ズボンにエッチな染みができたら、言い訳できませんね。

(耳舐め)

ふふふ、やっぱり。

おにいさんて、耳弱いんですよね？

だって、さっきからこんなふうに話しかけてるだけで
身体がピクって反応してたんですもの。

おにいさんを興奮させるには、耳が効果的みたいね。

(耳舐め)

おにいさん、声出しちゃダメですよ。

周りの乗客に、バレちゃいますよ。

気持ちよくても、声出しちゃダメですよ。

(耳舐め)

ふふふ、おにいさんおもしろーい。

こっちのお耳はどうかなあ。

(耳舐め)

耳をなめてる間も、おちんちんをなぞる手、やめないですからね。

(耳舐め)

おにいさんのお耳、すごく美味しいわ。

それに、おにいさんの反応、すごくいい。

ねえ、私のスカートの裾を、持ち上げてみて。

いいから。

そう、パンツ履いてないんです。

それに…

お兄さんの反応を見てたら、愛液が太ももまで流れるほど、興奮してしまいました。

おにいさんも電車の中で、おちんちん大きくして、カウパー液だらだら流してますし。

共犯、ですね？

ズボンがパンパンに膨らんで、おちんちんが苦しそうですから、チャックおろして出しちゃいますね。

抵抗したら、どうなるかわかりますよね。

ああっ、すごくたくましい。

このまま、私の愛液でとろとろになったおまんこに、入れて下さい。

大丈夫ですよ、密着しながら入れれば、周りの乗客にばれないですよ。

ほら、おまんこの入り口におちんちん当たってますよ？

このまま、入れていいんですよ。

はんっ、ああっ。

は、入ってくる…。

ああっ、い…、いい…。

お、奥まで、入っちゃいましたね。

ピストン、続けてください。

あつ…。んはあ…。

おちんちんが…、出たり入ったり。

き、気持ちいい…。

お兄さんのおちんちんで、気持ちよくさせられてる…。

お兄さんも、もっと気持ちよくなって。

(耳舐め)

大きくて、固くなったおちんちん。

すっごく気持ちいいの。

お兄さんのおちんちんで感じて、愛液が溢れ出るのが止まらない…。

(耳舐め)

んあ…、ダメ、そんな早くしたら…。

声、我慢できない…。

い、イキそうなの？

いいわよ、中にちょうだい。

私も、もう限界…。

お兄さんのおちんちんで、いかされちゃう…。

い、いくよ。

いくいくいく、いくうううう。

んっ、んあっ。

あああっあ…。

ああん、はあはあ。

いい、お兄さんのおちんちん、すごくいい…。

中にたくさん出しちゃったね。

さ、私この駅で降りなきゃ。

お兄さんのせーし。

ごちそうさま。

またね。